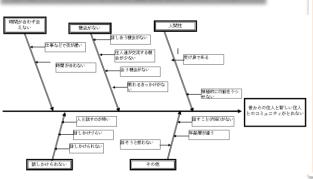
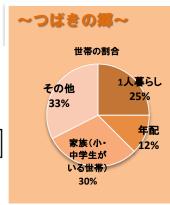
-ションがとれていない...

ゴミ当番において意見の行き違いが起き、非協力的な人が出てくる







★周辺にスーパーやコンビニが無い

★古いものからの建て替え



児童館

コミュニケーションに使える場所は?



コミュニケーション不

足からの苦情を無くす

児童館・完成予定の公園

を今よりも利用する

地区公園

平成26年度完成予定 広さ: 2.8ha

約東京ドーム4分の3

現状

10~15 件

0%

指標:達成条件

0件

80%利用

- 住民に苦情がきているとい うことを知られてはいけな
- ✓ 費用を極力下げる。
- ✓ 誰でも参加できる。

催しものを行う場合

催しものの素(仮)

駐車スペース

約30台分

催し物に使える面積

約1.5km²

かかるコスト

開催するものについては住民が 負担、チラシ作りや宣伝は5班が 受け持つ

一つの案として… 盆踊り 全て住民のみで行う

催しものを行わない場合

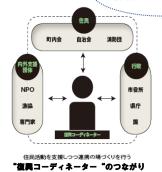
~地域のコミュニティ形成を支援する"*復興コーディネ*

《復興コーディネーターの役割》

1.住民活動のサポート 2.議論の場づくり

第3者的な立ち位置 部門を超えた連携

徹底した指標管理



2013年度 プロジェクトデザインⅡ プロジェクトテーマ: 市営住宅内コミュニケーション

金沢工業大学

不足による住民問題

クラス番号 : FM305-5

チーム番号 :5 チーム名 :5はん

: 小院瀨見健太 チームメンバー 齋藤 慶介

清水 紘輝 杉本大地

田中 睦美 西 郁香

担当教員 : 松本 重男 教授